令和５年１２月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和５年１１月１３日（月）
２．開 催 日 時　令和５年１２月６日（水）　９時００分～１１時１５分
３．開 催 場 所　理事全員の同意によりWeb会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２３人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１９人（Web会議システムによる出席１９人）
７．出席監事数　３人（Web会議システムによる出席　３人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、玉木 寛之、安室 篤志、田村 大輔、池田 隆久、伊藤 雄平、上島　健、川崎 一郎、秋山 正稔、富居 博治、横山 聡洋、竹内 博次、金子 典生、秦　研二、平井 英次、藤田 亮則、川村 道夫、後藤 章洋

９．出席監事の氏名

熊木　宏、近藤 恭二、山口 直延

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会はWeb会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　組合員及び賛助会員の脱退について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、組合員企業１社が１１月末、賛助会員１社が１２月末での脱退の申し出があったことの報告があり、１２月末で組合員数７８社、賛助会員数４３社、計１２１社になることの説明があった。

組 合 員：大洋金属工業株式会社　代表取締役　原田 政吾
賛助会員：ファイナンシャルアライアンス株式会社　代表取締役社長　鳥潟 英城

嶋崎議長から組合員及び賛助会員の増員への協力要請があった。

嶋崎議長は、組合員及び賛助会員の脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　中間決算について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和５年４月１日から９月３０日までの上期６ケ月間の中間決算について説明があった。

・講習会の受講者が例年より少なかった。ハイブリッド型で開催するためインターネット環境が整った会場を手配するため会場費の負担が大きい。特に初級熱処理塾の受講者が少なかった。
・技能検定試験の助成金が手続きの遅れで、１０月上旬の入金になっている。
・創立５０周年記念誌の発行が今年度になり、印刷費が出ている。
・総会の参加者が少なく、会場費の支出が多く出ているため、マイナスになっている。

嶋崎議長から、物価が高くなっている背景もあるが、今後の課題として講習会の参加人数が少ない場合に受益者負担をお願いするとか、新しい会場の洗い出しも検討したいと説明があった。

続いて将来的に所有している事務所についても老朽化していることや環境が変わって来ていることを考えて、インターネットが整った会場が付設または近くにある物件へ引っ越して間借りすることも考えないといけないと述べられた。

次に来年の総会については、令和６年５月２１日（火）帝国ホテルで行う予定であることの報告があった。

田村理事から、帝国ホテルで行う理由について質問があり、嶋崎議長から、通常価格より値引きがある点と利便性を考えたことの説明があった。安室専務理事から他会場及び相見積の金額等について補足説明があった。

嶋崎議長は、中間決算について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　（一社）日本金属熱処理工業会：外国人技能実習制度について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、一般社団法人日本金属熱処理工業会で取組んで来た外国人技能実習制度が令和５年１０月３１日付け官報で厚生労働省の省令改正が行われ、正式に認定されたことの報告があった。

続いて一般社団法人日本金属熱処理工業会が評価試験実施機関となり、保存文書の管理や提示報告を行う義務が発生したことと工業会のホームページに外国人技能実習制度に関するページの追加について説明があった。

次に組合員から選出いただいた東部の試験監督者が２５名になったこと各組合でオンラインでの勉強会が予定されており、現在日程調整（令和６年３月５日が濃厚）を行っていることの報告があった。

嶋崎議長から、外国人技能実習制度については今後変わって行く報道もあるが、骨子は大きく変わらないと考えていることと試験監督者の選出について謝辞が述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、青年部会が中心で運営を行った「組合まつり２０２３」（東京都中小企業団体中央会主催、１１月８日（水）、９日（木）、東京国際フォーラム］について報告があった。主内容は、次の通り。

・ブースへの来場者数が２日間で概算２００名、前回より５０名増。
・前回同様に和鋼博物館から模擬刀、玉鋼等、組合員企業から熱処理品のサンプルと映像をお借りした。
・模擬刀を持って写真撮影を多く行った。SNSへの投稿をお願いした。
・前回より模擬刀から熱処理技術の説明に誘導できた。

・出展者リポートで山田部会長がインタビューを受けた。YouTubeにアップされる予定
・平日開催の為、次世代へのPRが難しい。
・経費については、概算で１０万円程度。
・次回の予定は、令和６年１０月３０日（水）、３１日（木）開催予定

嶋崎議長から、若い世代に熱処理を知る機会を提供できれば意味合いが深まると考えているが、平日開催なので難しい。次回も平日開催の予定なので、何をターゲットにするのかを定めて、特色を出して欲しいと考えている。

横山理事（青年部会副部会長）から、運営に携わった方々、熱処理品のサンプル及び映像を提供いただいた方に謝辞が述べられた。盛況で終了したことと「刀」から「玉鋼」に行き、「熱処理」の説明が出来たこと和鋼博物館から提供いただいたパンフレットやマップを来場者に渡し満足されている様子があった。次回も準備をして出展したいと述べられた。

熊木監事（青年部会副部会長）から、協力への謝辞の後、日本刀の反響が良かった。平日開催に対する対応について課題として検討したいと述べられた。

田村理事（青年部会前部会長）から、協力への謝辞の後、今後の出展に向けて正副理事長にアドバイスが求められた。

嶋崎議長から、年配の方に持って帰ってもらい自宅で若年の方に読んでもらうような物を作成する。

玉木副理事長から、昨日の青年部会で今後の展示方法、配布物、実演の実施など前向きな発言があったことの報告があり、如何に「熱処理が伝わる」のかを前向きに捉えて「継続は力なり」と考えていることの説明があった。

曽根副理事長から、希望としては関東経済産業局との連携も考えて欲しいと述べられた。

秦理事から、展示物としてより身近な物として「包丁（ステンレス製）」も考えたら良いのではないかと意見があった。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１０月１３日開催の第３回 BCP 推進 WG について議事録に基づき、報告があった。「危機管理産業展」の視察も兼ねて東京ビッグサイトの会議室で開催した。関東経済産業局の長友係長にオブザーバー出席いただいた。

主な内容としては、①関東経済産業局からの情報提供について（事業継続力強化計画）、②事業継続計画書について、③Google フォームのテスト結果から今後の運用方法について、④協定書、秘密保持契約書について

玉木副理事長から、久し振りの対面開催として東京ビッグサイトで開催したことと実際に被災した企業があった時に迅速に連絡を取り、どうサポート・支援をするのか、被害状況を把握するのかについて、夜間または休日時の連絡を取るためのルール作りについても議論していることの説明があった。また単独で事業継続力強化計画の認定を受けることについては、中小企業基盤整備機構でコンサルタント支援があることと次回の WG では、協定書の関係を議論する予定になっていることの報告があった。

嶋崎議長から、広域連携のモデルケースとなっているので、関東経済産業局と密接にして災害時の対応についてシステムの構築を進めて欲しいと述べられた。

続いて安室専務理事から、１１月２日開催の第３回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①SDGs セミナーの内容について（カーボンニュートラルの取組について賛助会員企業にアンケートを実施し、３社に事例発表をお願いする）、②情報発信について（FAX での情報提供をメールへの移行を再度働き掛ける）、③組合 HP（組合員及び賛助会員情報の未入力企業への再度の働き掛け及び入力内容の更新）について、④外国人技能実習制度について、⑤情報交換について（タイムカードの管理、LGBT の取組み等）

玉木副理事長から、外国人技能実習制度から育成就労制度に代わる見込みで、詳細は決まっていないが、１年で他の業種に移れるようになると説明があった。

熊木監事（総務委員長）から、SDGs セミナーについては、過去 2 回 SDGs の概要を取り上げたが、今回は賛助会員に協力いただき、具体的に何をすれば良いかについて発表してもらう内容になっていることの説明があった。

嶋崎議長から、SDGs に実際に取組むというよりは、世の中の潮流に乗って行かないといけないと述べられた。

川村理事から、SDGs は範囲が広いので、カーボンニュートラルとして直接使えるというよりは研究している段階で費用対効果を考えるとこれからだと思うので、勉強をしたいと述べられた。

続いて安室専務理事から１１月１３日開催のマーケティング委員会と１１月２４日開催の第６回価格交渉サポートセミナーについて議事録等に基づき説明があった。委員会の主な内容については、①第６回価格サポートセミナーについて、②市場動向に関する情報交換。

第６回価格交渉サポートセミナーについては、正副委員長が進行等を担当し、来賓に関東経済産業局の製造産業課長、（一社）日本金属熱処理工業会の会長等をお招きし、２つのテーマ（「価格交渉のエビデンス作成に関する討議」「価格交渉に関わるその他の困りごと」）について６グループ３５名で討議したこととアンケート結果について報告があった。

曽根副理事長から、価格サポートセミナーについて準備段階から携わった正副委員長に謝辞が述べられた。

嶋崎議長から、大切な取組みなので今後も続けて欲しいと述べられた。

続いて１１月１７日に開催された技術・品質合同委員会及び工場見学会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①技術及び品質委員会事業報告および計画について、②令和６年度の活動計画について

工場見学会については、嶋崎議長はじめ理事及び委員の１８名で富山県の中越合金鋳工株式会社に伺い、工場を見学した。

藤田理事（技術委員長）から、工場見学参加について謝辞が述べられた。来年予定の品質活動発表会の準備状況について説明があった。

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和５年５～１１月の組合員及び賛助会員の異動と第２８回熱処理国際会議への寄附について報告があった。

続いて１月の理事会の日程の報告と新年賀詞交歓会への参加要請及び令和６年５月の第５３回通常総会の日程について報告があった。

安室専務理事から、理事会の開催時間について質問があり、アンケートを実施することになる。

以上をもって、議案全部の審議を終了した。曽根副理事長より閉会を告げ散会した。

令和５年１２月６日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　池田 隆久　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　川崎 一郎　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　金子 典生　㊞

出席理事　秦　研二　㊞

〃　平井 平次　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　近藤 恭二　㊞

〃　山口 直延　㊞